



## TEAM

# FUKUOKA NEWS

### 「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュース

10月3日 Vol.15-(2)

## “TEAM FUKUOKA” が継続！！

### 弓道少年男子上位8チームが優勝！！



台風の影響で縮小開催となった。近的・遠的ともに予選のみを行い、上位8チームに一律13.5点の競技得点を与える方式となった。

少年女子は2種目とも敗退したが、少年男子は近的が1位で、遠的が2位と入賞し、合計27点を獲得！予定通り決勝が行われれば、2種目制覇の可能性もあっただけに、悔やまれる縮小開催となった。強化スタッフらは「台風でコンディショニング調整が難しかったが、試合会場の敦賀市から片道約50kmの鯖江市まで移動し練習を重ねたのが良い結果に繋がった」と胸を張った。



【左から江口、梅崎、中村崇、中村隆の各選手】

### バスケットボール成年男女が準決勝進出！

成年男子の準々決勝は対北海道。本県のライバル県の一つである。本県は、最後まで主導権を握り、勝利。メンバー全員が出場。特に、大学生や若い選手の出場時間が多く、その起用に選手が応えた試合だった。熊谷主将は、「粘り強い守りから速攻を仕掛け確実に得点を重ねるのがFUKUOKAのバスケット」と、明日を見据えた。

成年女子も激しいディフェンスからの速攻とドライブからのシュートで得点を重ね、危なげなく準決勝に進出し、優勝も視野に入ってきた。



【シュートを放つ織田選手(6番)】

### カヌー少年男子4位入賞！

天候は晴れ、強い日差し、夏を思わせる暑さ。少年男子スプリントカヤックペア500mには、下川拓樹選手と田中征弥選手(ともに三潁高校)が4位に入賞した。

県カヌー協会は、強化スタッフやトレーナーも帯同させている。強化スタッフは、相手選手の分析などを行い、戦術について、監督や選手とミーティングを重ねる。この連携がうまく行っていることが、カヌー競技上位入賞の原動力となっている。

下川選手は、「スタートで少し焦ってしまった。優勝を狙っていたので、非常に残念だが、明日の200mが得意なので、スタートからトップスピードで、優勝を目指す。」と、コメント。

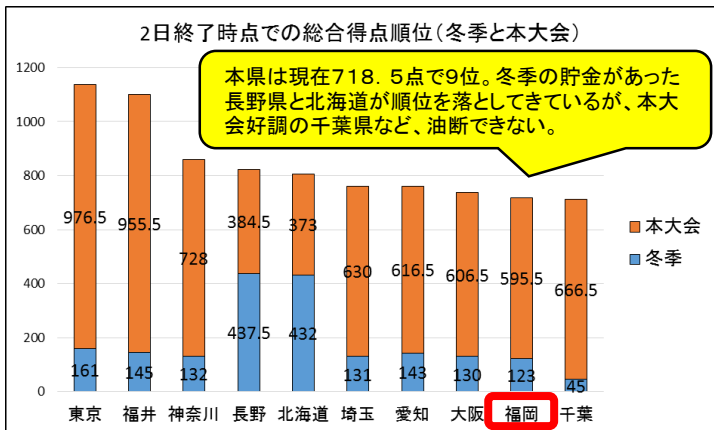
富松監督も、「今年は、どの県もペアに力を入れている傾向がある。ミーティングを充実させ、明日はより上位を狙わせる。」と、語った。

今日の反省を活かし、より高いところを狙ってほしい。



【下川選手(左)と田中選手(右)】

2日終了時点での総合得点順位(冬季と本大会)



国体の情報については、大会ホームページ (<http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>) より、ご覧ください。

※Facebookにおいても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係